

平成 28 年度コミュニティソーシャルワーク事業 実績報告書

1. 総合的福祉相談（詳細は別紙）

	28 年度	27 年度
個別相談支援（延べ件数）	7,146 件	6,706 件

（1）個別相談支援

[相談方法]

	28 年度 (延べ件数)	27 年度 (延べ件数)
電 話	3,644 件	3,408 件
訪 問	1,214 件	1,219 件
来 所	809 件	732 件
相 談 会	115 件	154 件
出先にて	1,015 件	828 件
そ の 他	349 件	365 件
合 計	7,146 件	6,706 件

[対象者]

	28 年度 (延べ件数)	27 年度 (延べ件数)
0～9 歳	66 件	27 件
10～19 歳	98 件	121 件
20～64 歳	2,251 件	1,737 件
65～74 歳	1,256 件	1,451 件
75 歳以上	2,143 件	2,351 件
不明・団体等	1,332 件	1,019 件
合計	7,146 件	6,706 件

[相談内容] ※重複あり

内 容	件数	内 容	件数
高齢者	2,694 件	健康・医療・介護	2,210 件
その他	1,531 件	協働・コミュニティ	1,245 件
障がい者	1,097 件	住まい・道路・まちづくり	803 件
産業・仕事・消費生活	609 件	子育て・教育	521 件
くらしの衛生・ペット	183 件	安全・安心	171 件
生涯学習・スポーツ	126 件	環境・ゴミ・リサイクル	113 件
届出・証明	68 件	税・国保・年金	36 件
人権・平和・男女共同参画	23 件	交通・自転車	18 件
防災	7 件	合計	11,455 件

(2) 相談会の開催

	28 年度		27 年度	
	回数	相談者件数	回数	相談者件数
暮らしの なんでも相談会	286 回	99 件	270 回	154 件

※区民ひろば 19 か所、その他集会室等 2 か所において開催

2. 地域支援活動（地域を元気にする活動）

(1) 要援護家庭の子どもへの学習支援活動

【回数・参加者人数】

学習会名	ちゅうりっぷ	にじいろ	あおぞら	
開催回数（回）	19	9	27	
参加者 延人数 （名）	子ども	135	190	707
	ボランティア等	241	175	321
	小計	376	365	1,028
	合計	1,769		

【対象】

- ・ちゅうりっぷ学習会（東部地域）
- ・にじいろ学習会（西部地域）
- ・あおぞら学習会（西部地域）

※ちゅうりっぷ学習会は、学習支援ボランティア（チーム「つばめ」）が主体となって企画運営を実施。定期的に打ち合わせ会を開催

【会場】

小学校、区民ひろば、区民集会室、町会会館などを使用

【連携・協力した機関等】

小学校、区民ひろば、子どもスキップ、民生児童委員協議会、青少年育成委員会、地域福祉サポーター、生活福祉課、地域住民 など

(2) 大正大学社会福祉学科サービスラーニング（体験教育）への協力

○テーマ サービスラーニングを通して、コミュニティソーシャルワークについて考える

CSW 圏域	会場	内容	参加者数
東部	区民ひろば南大塚	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ひろばプログラムへの参加 ・区民ひろば事業活動への協力 ・CSW事業活動参画 ・区民ミーティング参加など 	<p style="text-align: center;">85名</p> <p style="text-align: center;">※4クラスが各圏域にわかれて活動</p>
いけよんの郷	区民ひろば池袋		
アトリエ村	区民ひろば富士見台		
西部	区民ひろば千早		

※サービスラーニングについて

1980年からアメリカで始まった教育活動の一つであり「社会活動を通して市民性を育む学習」。地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するもの。

(3) 小地域ネットワークの構築

地域住民や民生児童委員、町会・自治会、福祉関係団体等が、小地域でネットワークを構築して、地域課題の共有や、解決に向けた取り組みを行うなど、共に学びあい・支えあう活動を展開した。

①しゃべり場朋有（中央圏域）

目的	区民ひろば朋有運営協議会と社協CSWが協働し、住民同士の話し合い、学び合いの場を設け、世代間交流や顔の見える関係づくりを行う。
内容	<p><第1回>もしも今東京に大地震が起きたら～地震から身を守る7つの問いかけ 豊島消防署の方を招き、熊本地震のDVDをみた後、もし自分が障がいや病気をもっていて一人で被災したら何に困り、どんな備えが必要か、グループに分かれて話し合った。</p> <p><第2回>非常用持ち出し袋を考えよう！ 巣鴨警察と災害時のDVDをみた後、グループごとに「赤ちゃんがいる家庭」「高齢者がいる家庭」での非常用持ち出し袋の中身について話し合った。</p> <p><第3回>地域で守る 子育てママ 災害時支援に詳しい産婦人科医師からお話をきき、災害時子育て世代に必要な情報や心構え（受援力）などをワークショップ形式で学び、話し合った。</p>
関係機関・連携	区民ひろば朋有、メロス言語学院、地域活動支援センターこかげ、こどもスキップ朋有、豊島消防署、巣鴨警察署
実績	日時：年3回 会場：区民ひろば朋有 回数：3回 参加者数：132名

②きんぎょサロン（中央圏域）

目的	年齢・性別に関係なく、社会参加の場・社会貢献の場として、生きがいをづくりの一助を担う。地域での交流や他者とのかかわりを求めている方の居場所や仲間づくりの場として位置づける。
内容	エプロン、袋物作成、編み物などの手仕事、切手整理。製品はフリーマーケット等で販売し、収益は子どもの活動（NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク）に寄付。NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワークとの共催イベントを開催。地域福祉サポーターも企画段階から参加し、当日は地域の高齢者クラブにも協力を得た。また孤立した障害者の地域デビューも実現した。
関係機関・連携	区民ひろば上池袋、区民ひろば上池袋運営協議会、NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク、高齢者総合相談センター、くらし・しごと相談支援センター、豊島ボランティアセンター
実績	日時：毎週水曜日 14 時～16 時 会場：区民ひろば上池袋 回数：50 回 参加者数：406 名

③麦の家やってみる会（中央圏域）

目的	地域住民が「麦の家」に集い、利用者・地域住民と一緒に制作した看板の補修や様々なものづくり、麦の家の作業手伝い等を行うとともに、利用者との交流もはかる。
内容	麦の家の看板づくり、布ぞうりづくり、麦の家作業のお手伝い、などを行っている。
関係機関・連携	民生委員、地域福祉サポーター
実績	日時：不定期（月 1～2 回） 会場：地域活動支援センター麦の家 回数：13 回 参加者数：36 名

④池袋本町一丁目町会地域見守り検討会（いけよんの郷圏域）

目的	子どもから高齢者までの誰もが安心安全に暮らせる町会を目指す。全世帯を町会員と認識し、地域から孤立を防ぐ支援を『きずなサロン』を軸にじっくり継続的に行う。地域福祉活動を行っている関係者がお互いに横のつながりを持ち、連携・協働し、地域の実状に合った『支えあい』のしくみを作る。
内容	『見守り対象者名簿』と『見守りマップ』を作成し、半年に 1 回を目途に情報交換を行いながら名簿の更新を行う。地域課題について検証する。『きずなサロン』について議論する。
関係機関・連携	高齢者福祉課、いけよんの郷高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第 3 土曜日 10 時～12 時 会場：池袋本町第 2 区民集会室 回数：6 回 参加者数：90 名

⑤ふれあいグループ（いけよんの郷圏域）

目的	主に池袋本町に住んでいる高齢者を元気付けるためのボランティア活動を企画・実施することを目的としている。
内容	学校や地域のイベントのチラシを作成し、池袋中学生と一緒に近隣住民へチラシを配布する。池袋中学生と一緒に地域住民を招いて茶話会を開催する企画を考案する。
実績	日時：月 1 回 19 時～20 時 30 分 会場：池袋本町コミュニティセンター隣 回数：22 回 参加者数：3 名 協力者数：276 名

⑥集合住宅における茶話会（アトリエ村圏域）

目的	マンションに暮らす高齢者（特に一人暮らし）を中心に参加を呼び掛け、閉じこもりや孤立を防ぎ、住民同士の交流を通して居場所や仲間づくりの場とする。また、必要に応じてマンション住民以外の地域住民も受け入れることで、マンションと地域の住民間の交流を図る。区民ひろばを開催場所とすることで、地域に出るきっかけづくりとする。
内容	お茶を飲みながら話をしたり、折り紙や手芸、座ってできる体操などを行う。同じマンション内でもつながりのない一人暮らし高齢者が定期的に参加をしており、実態把握が出来た。定期的な開催により参加者同士の関わりも出来始め、茶話会以外の時間で参加者同士が声をかけあったり、話をする機会が増えてきた。
関係機関・連携	アトリエ村見守り支援事業担当、区民ひろば富士見台
実績	日時：毎月第 4 木曜日 13 時 30 分～14 時 30 分 会場：区民ひろば富士見台 回数：12 回 参加者数：45 名 協力者数：30 名

⑦ゆったり茶の間＜集合住宅コミュニティ活性化支援＞（西部圏域）

目的	集合住宅内でのつながりが希薄化している中、一人暮らし世帯の孤立化や複合的な課題がある世帯などもいる。集合住宅内の生活課題等のニーズ把握や住民同士のつながり、自治会の活性化などを目的としている。
内容	集合住宅内の住民同士や世代間の交流の活性化になるように、映画上映会やおにぎり会といった食事会、健康体操、けん玉遊び（むかし遊び）など、さまざまな企画を自治会と参加者（住民）と共に検討して、実施している。集合住宅の地域課題や生活課題について、自治会と住民が共有し検討する場にもなっている。
関係機関・連携	民生児童委員、高齢者総合相談センター、地域住民
実績	日時：毎月 1 回 2 時間(日時はその都度調整) 会場：都営住宅内集会室 回数：12 回 参加者数：188 名 協力者数：55 名

⑧地域貢献検討会議（小地域福祉活動ネットワーク会議体）（西部圏域）

目的	小地域福祉活動のネットワークを構築し、小地域（小学校区程度）の様々な生活課題や地域課題を共有し、解決に向けた検討することを目的とする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千川の杜（高齢者施設）の集会スペースが地域の拠点となることを目的とし、地域住民や関係機関が顔を合わせる小地域福祉活動のネットワーク体の構築を行う。 ・小地域エリアの様々な生活課題や地域課題を共有し、解決に向けた取り組みや仕組みについて検討する。 ・具体的な取組み案が挙げた場合は、その都度、部会を立ち上げて、企画検討する。
関係機関 ・連携	民生児童委員、地域福祉サポーター、地域住民、高齢者総合相談センター
実績	日時：隔月 1 回 会場：千川の杜地域交流スペース 回数：5 回 参加者数：55 名

（４）サロン活動等の立ち上げ・運営支援

地域住民が中心となって実施している、もしくはこれから実施したいと考えているサロン活動等の地域活動について、CSW が立ち上げや運営の支援を行った。

①サロンさんぽ道（ふくろうの杜圏域）

目的	誰もが気軽に集まって、それぞれの楽しみをもって自由に過ごせる場となることを目指している。また、人と人とのつながりが生まれ、得意なことを活かす、困りごとを解決するなど、様々な刺激を受ける場となることを期待している。
内容	茶話会、紙芝居、季節ごとのイベントなど
実績	日時：毎週金曜日 10 時～15 時 会場：個人宅 1 階スペース

②気ままにラルゴ（豊島区医師会圏域）

目的	以前よりも家にいることが多くなったと感じる高齢者の皆さんに対し、美味しいコーヒーを飲みながら、のんびり気ままに地域の方と交流を持つことを目的にしている。
内容	コーヒーを飲みながら地域の皆さんと交流を深める。看護師が参加者の血圧を測り、その日の体調を確認し、椅子に座ったままできる介護予防体操を地域のケアマネが行う。西池袋周辺に集まる場所が少なかったが、孤立しがちな高齢者の集える場所ができた。
実績	日時：主に月末の金曜日 会場：カフェラルゴ（西池袋） 回数：4 回 参加者数：49 名 協力者数：47 名

③きずなサロン（いけよんの郷圏域）

目的	「池袋本町一丁目町会に住む方々のきずなが深まれば」という願いを込めて開催されている。町会加入に関わらず参加が可能とし、サロンを通して地域が一体となり安心・安全な生活ができることを目的としている。
内容	昔懐かしい映画鑑賞会、楽器演奏や歌の披露、地域のコーラス、マジック・落語の芸人をゲストに呼んだりして、毎回工夫を凝らした出し物を行っている。またラジオ体操や輪投げで体を動かしたり、お茶を飲みながらの歓談をしたり、参加者も毎回楽しみにしている。
実績	日時：偶数月の第3土曜日 13時～15時 会場：池袋本町第2区民集会室 回数：6回 参加者数：105名 協力者数：73名

④カレーサロン（西部圏域）

目的	夕食時の食卓を囲むことがなかなかできない家庭や一人暮らし高齢者に対して、家庭的な雰囲気と大勢で食卓を囲んで食事をしてもらうことを目的に活動を実施している。
内容	毎回味のちがった手作りカレーを夕食の時間帯に食してもらう。民生児童委員が地域の高齢者に個別に声掛けをしている。
実績	日時：毎月最終土曜日 17時～19時 会場：コミュニティカフェ カフェ・ルイ 回数：6回 参加者数：95名 協力者数：34名

⑤らくゆうサロン（西部圏域）

目的	民生児童委員、高齢者総合相談センター、高齢者施設職員、地域福祉サポーター、CSWなどが顔を合わせ情報交換の場を目的とする。また、参加者がここに来れば福祉関係者に会え自然と相談ができることも目的とする。
内容	コーヒーやお茶、お菓子などを無料で提供している。楽の会（引きこもり支援団体）から、フェアトレードのコーヒーを購入している。体操と歌、イベントを実施。映画上映、ブラスバンド、ダンス、弦楽四重奏、マジック、落語、小唄、講演など多彩な内容を展開している。毎月ポスターを約60枚、町会の協力を得て、掲示板に掲示している。
実績	日時：毎 第二火曜日・第四土曜日 10時～12時 会場：千川の杜地域交流スペース 回数：24回 参加者数：423名 協力者数：318名

(5) 個別及び地域課題の把握のための活動

CSW が、個別及び地域課題の把握や、地域住民同士の顔の見える関係づくりなどを目的として、茶話会等を実施した。

①茶かもん会（菊かおる園圏域）

目的	日ごろちょっと気になる話題などを、昔ながらの井戸端会議のようにお茶を飲みながら、堅苦しくない雰囲気でお話していただくことにより、情報交換を行うとともにお互いが顔の見える関係を築き、地域力向上につなげる。
内容	地域住民の身近な課題をテーマとして設定し、関係機関等から話をしていただいた後、お茶を飲みながら話し合っていたく時間を設定。茶話会には菊かおる園高齢者総合相談支援センターの見守り支援事業担当にも加わっていただき、参加者がテーマについてのみならず、日ごろから気になっていること等を気軽に話していただける場としている。
関係機関・連携	菊かおる園高齢者総合相談センター、区民ひろば西巢鴨、東京都健康長寿医療センター研究所、大正大学手話サークル Pocky
実績	日時：年3回程度（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば西巢鴨第一 回数：3回 参加者数：79名 協力者数：27名

②おおつか茶かもん（東部圏域）

目的	生活に役立つことをテーマにした茶話会を区民ひろばで開催することで、今までひろばを利用しなかった層に働きかけ、参加者同士の顔と顔の見える関係作りを目指す。
内容	毎回生活に役立つことをテーマにして、講師に分かりやすく伝えてもらい、お茶を飲みながら参加者同士の交流を図る。
関係機関・連携	東部高齢者総合相談センター、区民ひろば南大塚、南大塚防災まちづくりの会、大正大学手話サークル Pocky、福祉サービス権利擁護支援室、豊島ボランティアセンター
実績	日時：隔月（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば南大塚 回数：5回 参加者数：85名 協力者数：40名

③遊楽里 高南（ふくろうの杜圏域）

目的	“孤食”によるコミュニケーション不全等の課題に向き合うため、地域住民の方々が集い、一緒に食事をする場をつくる。バランスのとれた栄養ある食事を摂り、身体の健康を増進することはもちろん、参加者、支援者等との会話を通して、食事やコミュニケーションの楽しさを伝える。地域で孤立する方が1人でも少なくなるよう、孤立しがちな方にアプローチし、顔と顔の見える関係や地域のつながりを構築していく。
内容	月に2回、区民ひろばにお弁当を届け、一緒に食事をする。普段、配食サービスを活用し一人で食事をしている方にもアプローチする。食事後、体操や手仕事など参加者の皆さんの好きなこと・得意なことを行う。
関係機関・連携	区民ひろば高南・運営協議会、民生委員、ふくろうの杜高齢者総合相談センター
実績	日時：月2回程度（4月～6月まで） 会場：区民ひろば高南第一 回数：5回 参加者数：86名

(6) 「学生出前定期便」への支援（菊かおる園圏域）

大正大学学生によるボランティア活動『学生出前定期便』について、相談者からの申込受付を菊かおる園圏域CSWが行い、活動を通して利用者の生活状況やニーズを把握、必要に応じて関係機関へ繋ぐ。行政によるサービスに抵抗感を示す住民へのアプローチなど、個別訪問が難しかった支援対象者の実態把握を行うことができた。また、活動のPRと住民と学生の交流を目的として、サロンを実施した。

活動日時	活動範囲	活動内容	活動件数 (延べ)	活動者数 (延べ)
月曜日 9時～12時 13時～16時	大正大学周辺	概ね30分程度で行える作業 ・荷物の移動 ・庭の草刈り ・電球の取り換え ・電化製品の説明 等	59件	129名

【サロン】

会場	回数	参加者数	参加者属性
都営西巢鴨二丁目 アパート集会室	2回	1回目：38名 2回目：32名	地域住民、学生、地域福祉サポーター、 高齢者総合相談センター職員 など

4. 地域福祉サポーターの養成及び活動の推進

(1) 登録者

登録者数：個人 203 名 法人 1 団体 (267 名)

【属性】

個人：一般区民、大学生、元民生児童委員、ハンディキャブ利用会員、金融機関職員、NPO 法人職員、弁護士、社会福祉士、ケアマネジャーなど

法人：生命保険会社

【個人登録者 性別・年代】 最年少：20 歳 最高齢：87 歳 平均年齢：62 歳

性別 年代	男	女	計	割合
10 代	0 名	0 名	0 名	0%
20 代	4 名	3 名	7 名	3.5%
30 代	4 名	5 名	9 名	4.4%
40 代	10 名	7 名	17 名	8.4%
50 代	15 名	22 名	37 名	18.2%
60 代	25 名	47 名	72 名	35.5%
70 代	14 名	37 名	51 名	25.1%
80 代	1 名	9 名	10 名	4.9%
計	73 名	130 名	203 名	100%
割合	36%	64%	100%	

(2) 説明会

実施回数：4 回（その他、随時実施）

仮登録者：52 名

内容：①地域福祉サポーター活動の趣旨説明

②意見交換

(3) スタート研修

実施回数：個人向け 4 回 法人向け 7 回

受講者数：個人 52 名 法人 267 名

修了者数（登録者数）：個人 52 名 法人 267 名

内容：①講義：豊島区の現状と課題、地域福祉サポーターについて など

講師：豊島区民社会福祉協議会 職員

②グループワーク「私たちが暮らすまちの中で起きている生活課題」

③連絡事項、修了証書授与

(4) テーマ別学習会

実施回数：3回

延べ参加者数：86名

内容：テーマ別の講義、グループワーク 他

1	開催日時	平成28年7月28日(木) 18:30~20:30
	会場	生活産業プラザ3階 大会議室
	テーマ	~多文化共生~国籍・文化の違いを尊重しあう地域へ
	講師	NPO 法人多文化共生センター東京 千田 綾 氏
	参加者数	25名
2	開催日時	平成28年12月10日(土) 14:00~16:00
	会場	生活産業プラザ3階 大会議室
	テーマ	子連れ防災10の心得~来たるべきその日のために出来ること~ (公開講座)
	講師	国立保健医療科学院 吉田 穂波 氏
	参加者数	38名 他、子ども(6名)、保育預かり(9名)
3	開催日時	平成29年3月6日(月) 13:30~16:00
	会場	生活産業プラザ8階 多目的ホール
	テーマ	知って得!笑顔つながる仲間づくり~サロン活動を知ろう~
	話題提供者	らくゆうサロン・千川の杜 前澤氏・坂本氏・日比氏(サポーター) きんぎょサロン 笹川氏・齋藤氏(サポーター)、中央圏域担当 CSW
	参加者数	23名

(5) 圏域ごとの交流会

サポーター活動に関する情報交換などを行い、身近な地域(CSW圏域単位)で地域福祉サポーター同士の交流を深めた。

実施回数：11回

延べ参加者数：64名

内容：地域福祉サポーター活動に関する意見交換、交流 他

CSW 圏域	回数	参加者数 計
菊かおる園	1回	6名(男3名、女3名)
東部	1回	3名(男1名、女2名)
中央	3回	17名(男4名、女13名)
ふくろうの杜	1回	5名(男3名、女2名)
豊島区医師会	1回	6名(男2名、女4名)
いけよんの郷	1回	5名(男2名、女3名)
アトリエ村	2回	14名(男5名、女9名)
西部	1回	8名(男4名、女4名)
合計	11回	64名(男24名、女40名)

5. 地域アセスメント

地域の実態把握、社会資源調査・ヒアリングの実施、関係機関との連携・協議を行い、地域課題の把握、新たなしくみづくり等の検討、地域支援活動を展開した。

また、豊島区民社会福祉協議会発行の「トモニーつうしん特集号」において、区内で行われている集いの場やサロン活動について取材及び記事を作成した。

【トモニーつうしん特集号】

発行日：平成 29 年 3 月 18 日

発行部数：9 万部

配布方法：新聞折り込み、区民ひろば等各窓口などで配布

取材・掲載団体：記事掲載団体 14 団体 MAP 掲載団体 100 団体

6. コミュニティソーシャルワーク活動紹介冊子の作成

豊島区におけるコミュニティソーシャルワーク実践を、地域住民や関係者に分かりやすく紹介するために、実際の活動事例や実績などをまとめた冊子を作成、配布した。

発行日：平成 28 年 8 月

発行部数：1,000 部

配布先：地域住民、民生児童委員、区民ひろば、区関係部署、福祉関係団体など

7. CSW スーパービジョン体制の充実

コミュニティソーシャルワーク実践の質の向上を図るために、スーパーバイザー（学識経験者 2 名）によるスーパービジョンを受けた。また、職員間で実践上の課題共有や、解決策の検討などを行った。

スーパーバイザー会議：1 回

CSW 担当者会議：6 回

事例検討会議：8 回（内、6 回スーパーバイザー参加）